

夏－2 台風が来た！

1. 活動の目的

- ①自然災害にはどんなものがあるか知り、災害への心構えを持つ。
- ②気象庁や市から発信される台風や大雨の情報を理解する。
- ③台風、大雨に備える。

2. 準備するもの（☆は教材ファイルにあるもの）

- ☆防災ハンドブック（吹田市）日本語、英語、中国語、韓国語版
- ☆「どうしますか」シート／避難文字カード
- ☆「避難勧告等の伝達内容」岐阜県防災課

3. 活動の手順 留：留意点 参：参考 発：発展的活動

活動1

- ・イラストを見ながら、自然災害の語彙を確認する。テキストの語彙以外にも、学習者から出てきたらつけ加える。
- ・「災害に遭った経験」は、学習者からあまり話が出なければ、大きな被害に限らず、台風で乗る飛行機が欠航になったとか、雪道で転んで骨折したとかとか、何らかの影響を受けた経験を話してもらおうとよい。日本だけでなく、自国での経験でもよい。
- ・今住んでいる地域で、大雨や台風時に災害が起きやすい場所、危険な場所がないか聞いてみる。また、ボランティアが知っていることがあれば話す（川があふれたことがある、がけ崩れが起きたなど）。

活動2

- ・[注意報と警報]を読んで、「注意報」と「警報」があること、注意報→警報→特別警報の順に危険度が高いことを説明する。
- ・休校（休講）の説明の文の正しい答えに○をつけてもらう。正答は c. 暴風警報
- ・雨や台風など天気に関する情報を何で得ているか、休校などの（会社では早退になることがある）判断基準となる警報や注意報などの情報をどうやって得ているか、聞いてみる。
- ・[台風や大雨で危険があるときのお知らせ]を読む。
- ・言葉を覚えたかどうか、適切な行動がとれるかどうかを簡単な2つのゲームで確認する。方法は次の通り。

「どうしますか」シート

●聞いてわかるかどうかの確認

- ①学習者全員に見えるように「どうしますか」シートを貼る（置く）。
- ②ボランティアが下の「お知らせ」を読み、学習者はテキストを見ないで「どうしますか」シートの番号を言う。
- ◇お知らせ1 こちらは吹田市災害対策本部です。5時5分、吹田市に大雨の特別警報が発表されました。→②

◇お知らせ2 こちらは吹田市災害対策本部です。ただ今のサイレンは吹田市
全域に対して避難指示を発表したことをお知らせするサイレン
です。→③

◇お知らせ3 こちらは吹田市です。ただ今、7時20分に〇〇地区に対して避
難準備情報を発表します。避難の準備を始めてください。→①

留 「特別警報」のとき、外に出るとかえって危険なこともあるので、その時の
状況をみて一番安全と思われる方法を判断するよう伝える。

留 この聞き取り練習は勧告や指示だけが聞き取ればいい。お知らせの文を
全部説明する必要はない。

発 よくできる学習者には、生の手稿を読んで聞く練習をするとよい。

●「文字情報」がわかるかどうかの確認。

①ボランティアは「避難文字カード」を見せて「テレビにこの字がでました。
どうしますか。」

②学習者は「どうしますか」シートの番号を言う。

留 この練習は文字を見てわかることが目的。文字を読ませる必要はない。

・避難所の場所を知っているか、またいざというとき助けてもらえる近所の人はい
るか、聞いてみる。普段から近所の人と言葉を交わすよう、助言する。

・台風への備えをグループで話し合う。テキストのイラストは停電（懐中電灯やろ
うそくの準備）、溝や排水溝の掃除を表している。防災ハンドブック 16 ページの
イラストを活用する。

・台風や大雨の時の注意点をまずグループで話し合う。テキストのイラストが何を
意味していると思うか、聞くとよい。「どちらがいい？」を考えてもらう。

・次に、学習者から出てこなかった注意点があれば、ボランティアが説明し、学習
者に気づいてもらう。防災ハンドブックの24ページを見て、みんなで注意点を確
認する。

参 イラストの意味 (参考:大阪市鶴見区役所「大阪に台風が来たとき」)

風が強いとき：物が飛んでくるかもしれないので頭を守る

窓にテープを貼る、雨戸をしめる、カーテンを閉めて窓から
離れる

雨が強いとき：高いところへ逃げる

大雨の中を逃げるとき：車より徒歩で

水の中を歩くときは脱げないよう紐のある靴で

荷物は両手が使えるようにリュックで

棒で足元を確認しながら